

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

3月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター

〒861-0593

熊本県山鹿市山鹿511番地

TEL 0968-44-2185(代)

FAX 0968-44-2420

病院機能評価の認定を更新しました!

去る5月18日、19日の2日間に亘り、当センターは日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定更新審査を受審しました。前回の受審が平成28年12月であったため、本来であれば、5年後の令和3年の12月までに受審すべきところでしたが、新型コロナウイルス感染症流行に伴い受審延長の特例措置を受けての受審となりました。

延長は認められたものの、その間にも新型コロナ流行の波が幾度も訪れました。コロナ対応、職員の罹患等、限られた時間のなか受審時期が確定後、令和4年の11月に病院事業管理者のキックオフにより準備を開始することになりました。

今回の評価基準は「3rdG: VER.2.0」というものであり、前回受審時の「3rdG: VER.1.1」をベースに若干のマイナーチェンジを行ったものです。主な変更点としましては、事務領域サーベイヤ1名増の審査6名体制、評価機構によるケアプロセス症例の決定等になります。

2日間の訪問審査は、初日の病院事業管理者の病院概要説明に始まり、午前中に書類確認、地域連携及び組織運営等の幹部面接、午後からは症例トレース型のケアプロセス調査が行われました。このケアプロセス調査は、患者さんの外来から入院、退院までの一連の流れについて、医師、看護師、コメディカルスタッフ等の多職種がどのように役割分担をしながら関わっているかを評価するものであり、訪問審査の目玉とも言えます。今回は3つの病棟により4症例を提示しまし

た。

非常に短い準備時間でしたが、どの症例も当センターの診療機能および看護等のケアについて十分にアピールできたものと思います。初日は他に事務領域面接、外来、救急外来等の部署訪問が行われ終了となりました。2日目は手術室、内視鏡室、医療安全、感染制御、コメディカル部門等の部署訪問が主で、それぞれの業務、役割について自信を持って回答していました。訪問審査は、夕方のサーベイヤ講評、意見交換をもって終了となりました。

講評においては、課題、改善点に対するご指摘、アドバイスを受けましたが、サーベイヤの方々に当センターの限られた人材、医療資源による病院運営、地域における連携・役割、取組に対し理解、共感をいただけたことは職員の励みとなり、モチベーションの向上にも繋がっております。

病院機能評価の認定病院数は全国で約25%となっており、今後の継続受審については、一考を要すると思いますが、第三者評価が医療の質の維持・向上、職員の現状認識及び改善意欲の醸成等の効果があると思います。

審査結果については、一部領域に改善指摘項目があったものの認定を受けることができ、職員の努力が報われました。今回の指摘事項及び洗い出された課題については速やかに改善に努め、引き続き地域医療の充実に貢献してまいります。

(文責：経営管理課 田尻 祐介)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

病院機能評価の認定を更新しました……………	P 1
職員の積極的な資格取得を応援しています…	P 2
皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました…	P 2
入院支援室……………	P 2
医療最前線 (155)……………	P 3
第76回公開講演会のご案内……………	P 3
外来担当医表 (3月)……………	P 4

当センターでは職員の積極的な資格取得を応援しています

資格取得により、本人のキャリアアップと同時に病院全体の質の向上が可能となり、最終的には患者さんに還元できると考えています。当センター5人目の認定看護師となります。来年度は認知症看護の認定看護師

1名に加えて、医師の働き方改革で推奨されている特定行為研修看護師2名が誕生予定です。

(文責 病院事業管理者 別府 透)

皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました

2023年3月に京都橘大学認定看護師教育課程を卒業し、皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡や下肢潰瘍、瘻孔などの創傷や人工肛門・人工膀胱及び失禁などの排泄に関わる分野を専門とし、皮膚障害の予防からケアの実践、排泄管理について学んだ知識・技術を用いて、

患者さん・ご家族への自己管理及びセルフケア支援とスタッフへの教育を行います。

皮膚は人間の身体を包み保護している最大の臓器であり、排泄も生きていく上で欠かすことのできない行為であると共に、人間として重要な生理現象です。それ故に、患者さんやご家族、医療スタッフの困りごとや悩み、不安が多い分野だと思っ



ています。

疾患の治療による薬剤や安静などの影響、時には排泄行動の制限によって皮膚・排泄にトラブルが生じることが少なくありません。私自身も医療の現場でスキントラブルへの対処法やストーマを造設した患者さんとの関わりに悩むことが多くありました。だからこそ専門性を身に付け、少しでも患者さんやご家族、医療スタッフの困難や不安の軽減に協力できればと思い資格取得を目指しました。また、認定看護師として更なるスキルアップのため、創傷関連・栄養関連の特定行為研修も同時に修了しました。

まだまだ手探り状態ではありますが、院内ではスキントラブル「ゼロ」を目指し、スキンケア委員会のメンバーと共に活動しています。

今後は、多くの患者さんが住み慣れた環境でご家族と共に長く生活できるよう、患者さん・ご家族1人1人にあった最善の排泄ケア・皮膚ケア・創傷ケアを考え地域の医療専門職と連携しシームレスなケアを目指していきたいと思います。

(文責：皮膚・排泄ケア認定看護師 城 真愛)

入院支援室

入院支援室は、患者満足度の向上と入院に関する病棟看護師の負担軽減を目的として開設され、現在2名の担当看護師で対応しています。

入院前から看護師をはじめとする他職種のスタッフが、患者さんに合った入院治療や看護が提供出来るよう、患者さんの基本情報を伺い、各種入院評価や服薬中の薬剤および入院前のADLや食事状況等の確認を行っています。

入院支援室の主な業務内容として

～入院が決定した患者さんへの対応(消化器内科・外科)～

1. 入院時オリエンテーション：患者さんやご家族が入院生活の理解を深め、不安なく入院の準備が行えるよう支援する。クリニカルパスによる入院中の経過の説明
2. 患者状況の把握：身体的・社会的・精神的背景を含めた患者情報の把握、アレルギーの有無、入院前に使用していた介護サービス・福祉サービスの把握
3. 褥瘡の有無、栄養状態の評価
4. 退院困難な要因の有無の評価
5. 現在使用中のお薬・中止薬の確認
6. 他職種との連携：聴取した情報から、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、臨床工学士などへ必要に応じて支援依頼

～予定入院患者さんへの対応(全科)～

1. 入院時の書類の確認、入院当日の体調確認
2. 内服薬とお薬手帳を預かり、薬剤師との面談
3. くまもとメディカルネットワークの説明
4. 病棟看護師へ申し送り(情報共有)

患者さんが入院決定から退院後までの療養生活を安心して送れるよう支援することが必要です。今後も他部門とも協力しながら患者さん・ご家族への支援を行っていききたいと思います。

(文責：入院支援室看護師長 矢野 悦子)



医療最前線 (155)



当センターにおける臨床宗教師の活動について

外科医師

織田 枝里

2002年のWHOにより緩和ケアの定義は、【生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者・家族のQOLを痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである】とされています。

スピリチュアルな問題は全人的苦痛の中でスピリチュアルペインに分類されますが、ピンとこない方も多いと思います。1960年代以降の英語圏で宗教や宗教性と同義として理解されてきましたが、それとは違った使い方をされ始めたのは1995年以降のことです。

スピリチュアルペインとは、実ははっきりとした定義はなく一番目にするものは村田理論の【自己の存在と意味の消失から生じる苦痛】であり、これらの苦しみは【死】と直面することにより【将来の喪失】【他者との関係の消失】【自律の喪失】から生じるとされています。元々英語圏で使用されてきた言葉を日本にもってきた経緯があり、私たちにはなじみの薄い概念ですが緩和ケアの領域においてはし

ばしば目にする機会があります。

「こんな状態になってまで生きていたくない」「なんで私がこんな病気になったのか」「死ぬってどんなことだろう」等々、すぐには返答に困るような発言を聞くことがあります。スピリチュアルペインに対するケアは色々方法が提案されていますが、基本的には医療従事者は【傾聴】と【ともにいること】の姿勢を示すことが重要とされています。

当センターの緩和ケア病棟は13床あり、緊急入院などの対応もあるため、なかなかそこまで一人に時間を使うことが難しく対応に苦慮していました。そんな中、臨床宗教師の活動について知る機会があり、2022年に緩和ケア病棟に導入しました。宗教師と名前にある通り、普段は教会やお寺などで牧師さんやお坊さんの活動をされていますが、病院には普段着で来られ「お話をきかせて下さい」と患者さんのベッドサイドで色々な話を聞いて下さいます。

【宗教】という言葉に拒否感を示される方もおられますが概ね「話を聞いてもらって少し気持ちが楽になった」など良好な反応を得ております。現在は緩和ケア病棟に限った活動ですが、必要があれば外来患者さんの対応もお願いしています。外来ではがん患者に限らず希望があれば対応いただけますので、もしお力になれるようでしたら緩和ケア病棟へご連絡いただければ幸いです。

第76回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1 単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
53. 腹痛

下記により第76回公開講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透
記

日時：令和6年3月8日（金）19：00～

形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)

会場：オンライン参加 / Zoomミーティング

会場参加/山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題：「メタリックス Tent について」

司会：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏 先生

演者：山鹿市民医療センター

消化器内科 竹野 洋司 先生

参加費：無料

【参加要領】下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/98383058989>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 983 8305 8989

パスコード : 425906

※ミーティングに参加される際の【名前】欄

には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。



お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 深水、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

3月

診療科名		月	火	水	木	金
呼吸器内科		※ 後藤 由比古	※ 濱田 昌平	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科		—	—	—	—	※ 宮本 英明
消化器内科		上野 茂紀	竹野 洋司	本原 利彦	上野 茂紀 竹野 洋司	本原 利彦
内分泌・代謝内科		川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科		大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※ 小國 哲也 担当医	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)		横田 秀峰 中原 達秀 山元 雅典	工藤 智志 中原 達秀 山元雅典 / 湯本みずほ	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科		別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 尾崎 宣之
乳腺外科		—	※ 富口 麻衣 (完全予約制)	—	—	—
泌尿器科		—	※ 原田 成美	—	※ 神波 大己 教授	—
小児科		※ 石井 真美 9:00～16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※ 石井 真美 9:00～16:30まで 予防接種(午後)	※ 石井 真美 9:00～16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
	眼科	—	非常勤医師 (完全予約制)	非常勤医師 (完全予約制)	—	—
産婦人科		※ 片淵 美和子 (午後)	※ 片淵 美和子 (午後)	—	非常勤医師 ※ 片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)		織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科		吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来		外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 / 担当医(午後)	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診		高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。

当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。

※ 非常勤医師です。 ※ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

3月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法(予約制)	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各 診 療 科
	宮 本 英 明	毎週 金曜（がん薬物療法専門医）	
禁 煙 外 来 (予約制)	坂 田 和 子	毎週 月曜（午後）	Aブロック
睡眠時無呼吸外来（予約制）	坂 田 和 子	毎週 火曜・木曜（午後）	
小 児 科 予 防 接 種	※ 石 井 真 美	毎週 水曜（受付時間13:30～15:30）	
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片 淵 美 和 子	3/4月、5月、11月、12月、14月、18月、19月、25月、26月、28月	
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来（予約制）	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

◆注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>